

図書館

としょだより

問い合わせ先

泗水図書館 ☎0968 (38) 6866
 中央公民館図書室 ☎0968 (25) 1672
 七城公民館図書室 ☎0968 (25) 1580
 旭志公民館図書室 ☎0968 (37) 3111
 内線303

閉館日・閉室日

泗水図書館 月曜日・月末・祝日
 中央公民館図書室 火曜日・第1日曜日・祝日
 七城公民館図書室 日曜日・祝日
 旭志公民館図書室 日曜日・祝日

※図書イベント情報は、32ページの行事予定へ掲載しています。



こんにちは、旭志公民館図書室です。模様替えをして以前よりも明るい雰囲気になりました。新刊や話題の本もどんどん増えています。ぜひお越しください。(旭志公民館図書室)

新着・お薦め図書

泗水図書館

警視庁FC	今野 敏 著
ポリティコン	桐野夏生 著
御隠居忍法振袖一揆	高橋義夫 著
馬を盗みに	パール・ペッテルソン 著
美しき身辺整理	竹田真砂子 著
綾戸智恵、介護を学ぶ	一志治夫 著
おとこの子とおもっていた犬	コーラ・アネット 作
スティーヴィーのこいぬ	ドロシー・マリノ 絵

中央公民館図書室

月夜にランタン	斎藤美奈子 著
今日からはじめる男の家事	阿部絢子 監修
第二音楽室	佐藤多佳子 著
苦役列車	西村賢太 著
もりのおくのおちゃかいへ	みやこしあきこ 著

七城公民館図書室

謎解きはディナーのあとで	東川篤哉 著
バムとケロのもりのこや	島田ゆか 著

旭志公民館図書室

完全なる首長竜の日	乾 緑郎 著
トイレの神様	植村花菜 著

シャーロットのおくりもの E. B. ホワイト作

私のおすすめの本は、「シャーロットのおくりもの」という本です。この本には、ファンという女の子が出てきます。ファンは、ころころになったウィルバーというこぶたを、ほにゅうびんで育てました。ウィルバーが大きくなると、ファーンのおじいさんの農場におひっこし、そこで、クモのシャーロットに出会いました。ウィルバーを見ているうちにシャーロットは、ウィルバーを好きになり、そして、友達になりました。今では、親友です。

私は、あまり、クモがでてる本を読んだことがないので、シャーロット



原田 瑞さん (迫水小5年)

トが文字を書いたところが信じられないと思いましたが、農場の他の動物が助け合うところがドキドキしたけど、最後は助かったからよかったです。もし、私がシャーロットに会ったら、文字を作っているところを見てみたいと思います。みなさんもぜひ、読んでみてください。

耳より情報

図書館利用カードはお持ちですか？

図書館利用カードは、菊池市内の図書館・図書室にある本を借りるために必要なカードです。

本の貸し出し期間は15日間です。全館合わせて、一人10冊まで借りることができます。

図書館利用カードQ&A

■カードは誰でも作れますか？

菊池市、合志市、大津町、菊陽町に住んでいる人や菊池市内に通勤・通学している人はどなたでも作れます。

■カードはどうすれば作れますか？

カードを作るためには、図書館・図書室に置いてある図書

館利用カード申込書が必要です。申込書はホームページからもダウンロードできます。必要事項を記入して、窓口へ提出してください。その際、本人の名前や住所が確認できるもの(運転免許証や本人宛のハガキなど)が必要です。

また、中学生以下の人は、保護者の了解が必要です。保護者への確認後、カードを発行します。

友だち100冊つくるんだ

こどもの読書週間 4月23日(土)～5月12日(木)

こどもの読書イベントを、5月14日(土)、5月15日(日)に開催します!(泗水図書館)



せせらぎ俳句会 2月例会

杖ひきて佐助に佇ち梅に佇ち
 村山 教恵
 嗣子を得て明るき寺の初法座
 藤本 邦治
 鯉の背のゆるり向き替ゆ寒日和
 服部 静子
 新幹線待つ熊本の春灯し
 藤本アツ子

赤点は断じて出さぬ期末試験
 渡辺 一史

万句の里俳句会 2月句会

クリスマスローズ咲きけり春立ちぬ
 鋤本 トミ
 葉隠れにゐて紅の濃し実万両
 田中ひさ子
 ものの芽にひそひそ話し小雨降る
 東 鈴子
 心にもゆとりの少し日脚のふ
 稲田 翔子

早春のひかり切りさき鳥の舞ふ
 梅田 昭子

旭志文芸俳句会 2月詠草

川面より霧立ちのぼる冬の川
 芹川のり子
 風花の中行く美しき頃かな
 芹川 蓉子

軍艦島とふ炭跡や時雨けり
 水谷 ミネ

並び立つ真白き雪のたるまかな
 中尾ヨシコ

雪明かり亡夫に便り書いてみる
 東 芳子

肥後狂句水笑会 2月例会

別腹 甘かもんならまだいくる
 宮上 美由
 こそばいさ なんかうらの有るこ
 平井 江彩
 たる こそばいさ 嫁の里では良か亭主
 中島 五女
 とつけむにゃア 割り勘なんて聞い
 続 義昭
 とらん 手の太さ がまだし方のちがうとる
 吉岡 三水

肥後狂句桜会 2月例会

妙な音 遂に廃車の日が近い
 高木 房恵
 えエ年して 人の話も聞きななつせ
 高倉 新米
 いい笑顔 辞令交付でこぼれよる
 辻 弘喜
 回り道 バツで幸せ掴んだつ
 藤野 清子
 妻の愚痴 一冊の本になりそう
 光掘 善教

七城短歌会 2月詠草

花嫁は父と腕くみにこやかにパー
 ンロード進みて来るも 高木 精
 カーテンを開けしな目を張る怒るが
 に視界閉ざせる雪狂ひ舞う
 池田カツ子

鉢植えのチューリップの芽日ごと伸
 ぶやわら陽とどく朝水かける
 水田紗陽子

これまでと医師に言われて二十年妻
 は喜寿の今日を迎ゆる 村上 幾雄
 駅伝の韋駄天ライブの箱根路を夫在
 りし日に共に旅せし 岩崎 照代

里短歌会 2月詠草

屋根の霜見る見るうちに融けゆくを
 冬のわかれと力湧きくる
 岡本 トシ
 ふるさとの古びしベンチにバスを待
 つ会う人毎に老いの増されり
 松本 幾代
 敗戦の兆しの中の卒業式われら歌ひ
 し「海ゆかば」の曲 松岡 節子
 孫からのマフラー巻きて外に出るに
 身に触り過ぐ風のさわやか
 林 淑子
 隅田川下りの船の波音に口ずさみを
 り廉太郎の「花」 安見 朱實

菊池短歌会 3月詠草

病む友の影も傍えに経を誦す御堂に
 こもる如月ひと日 岩木 妙子
 百才の叔母の通夜の座集ひたる見知
 らぬ者どち系図を告ぐる
 岩永 典子

八千代座に一期一会と舞ひてをり花
 道しめて「火の国旅情」を
 氏岡 百枝

鴨立つと見る間に又も舞ひ戻り川面
 しばらく夕日きらめく 梅田 昭子
 残されし寂しさ知るや山茶花よ臥し
 るて見ゆる紅ふたつみつ
 梅野かをる

